

事業番号	231
------	-----

平成25年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	道路台帳作成事業						担当部	都市建設部		
	会計区分	一般会計			事業類型	法定受託系	担当課	道路課			
	事業期間	平成12年度以前			～	平成30年度以降		担当係	維持係		
	総合計画 分野別計画	主目的	5 都市基盤		23 道路		1 道路整備を進める				
		副目的									
	予算区分	款	8	項	2	目	2	大	2	中	2
	根拠法令・個別計画	道路法									
	目的 (対象をどの様な状態にするのか)	・道路事業等により変化した箇所にとまなう道路台帳の修正を行い、適正な管理を図る。									
	内容 (手段)	<p>◆24年度実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路の新規認定、道路の廃止認定、道路の拡幅改良、その他改良、道路周辺の地形修正について、道路台帳の修正を委託業務により実施した。 ・職員は資料を整理し、委託の管理を行う。 <p>◆24年度直接経費の内訳 【委託業務内容】 H24年度については、H23年度に発生した道路の地形及び調書の更新 (委託料: 14, 133千円) 新規認定 L=0. 48km、道路の廃止認定 L=0. 87km 道路の拡幅改良 L=0. 78km、その他改良 L=1. 88km 側溝蓋掛け・防護柵等 L=4. 65km、舗装改良 L=0. 45km 道路周辺の地形修正 L=0. 56km</p> <p>◆25年度直接経費の内訳 (委託料: 18, 000千円) 新規認定 L=2. 00km、道路の廃止認定 L=5. 60km 道路の拡幅改良 L=3. 00km、その他改良 L=3. 00km 側溝蓋掛け・防護柵等 L=5. 00km、舗装改良 L=3. 00km 道路周辺の地形修正 L=3. 50km</p>									
	受益者負担	無									

		単位	H22決算額	H23決算額	H24決算額	H25予算額		
コスト	費用	直接経費	千円	16,275	15,120	14,133	18,000	
		正職員	従事者数	人	0.25	0.20	0.20	0.20
			人件費	千円	1,332	1,066	1,066	1,066
		その他職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00
			人件費	千円	0	0	0	0
		費用合計		千円	17,607	16,186	15,199	19,066
	対前年比		%		91.9	93.9	125.4	
財源	一般財源	千円	17,607	16,186	15,199	19,066		
	国・県支出金	千円	0	0	0	0		
	その他財源	千円	0	0	0	0		

業 績	活動指標名		単位	H22	H23	H24	H25
	修正回数	回	目標	1	1	1	1
			実績	1	1	1	
			目標				
			実績				
			目標				
			実績				
	成果指標名		単位	H22	H23	H24	H25
	修正回数	回	目標	1	1	1	1
			実績	1	1	1	
		目標					
		実績					

事業の自己評価	平成24年度の実施結果	
	事業の達成状況	道路法第28条により道路管理者は、管理する道路の台帳を調整し、これを保管しなければならないため、本事業をおこなうことにより、事業の目的は達成されている。
	事業実施における課題	道路調査等に現況を確認した際に、台帳数値と現況が異なる場合があり、修正までにタイムラグが生じる。
	事業を縮小・廃止したときの影響	道路管理者として法律上道路台帳が必要であることから、事業の廃止は出来ないと考える。
	平成25年度の改善内容	25年度における事業の改善・見直し内容(新規追加事項、廃止・削減事項等)
	平成26年度の事業の方向性	橋梁及び横断歩道橋の道路ストック点検で実施した点検結果を台帳に反映させることで、管理を集約する。
方向性の判定	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの(対象や手段を見直す場合も含む)
判定理由	道路管理者として法律上道路台帳を備える必要があり、また、データを紙ベースから電子化に変更することにより、更新のコスト節減もはかっていることから維持とした。	
26年度以降の改善案	道路管理者として、道路法上必要である事業であるため、着実に実施をしていく。	

二次評価	方向性の判定	判定理由
	維持	一次評価のとおり。